

高知工科大学入学式告辞

入学おめでとうございます。

あなた方が自分を託するに足る大学として高知工科大学を選んでくれたことに深く感謝の意を表します。その選択が間違いではなかったと思われるにたる教育システムを私たちは構築していると自負しています。教育の成果は私たち教職員の責任が半分、あなた方の責任が半分であります。教職員は全力をあげてあなた方の成長を支援する決意を今日新たにします。あなた方も今日この日を期して自己を成長させる決意をしてくれることを期待しています。

大学では高校時代までとは違って、大きな自由が与えられています。自由には必ず責任が伴います。責任を持って努力すればいくらかでも成長できるシステムをこの大学は持っています。例えば、必須科目が一つもありません。どの科目を履修するかは、すべてあなた方学生の選択に任されています。自己の責任において、何を学び、何を身に付けていくかを決めることが要請されているのです。「人間には誰でもそれぞれが他人とは異なる長所を持っている」という考えに基づいてできた教育システムです。それぞれが自分の長所を見

つけ、そして自らそれを伸ばしていかなければなりません。授業評価を通してあなた方の意見を反映し、その結果のすべてを大学内に公表することによって、教員がその授業を常に改善していくシステムも用意しています。このシステムはあなた方の感性を信用して造られたものです。あなた方の評価によって、教育が改善されていくのですから、あなた方の責任も重いといえます。

工学系の大学では「大学院修士課程」に進学することが一般的となってきました。また、一流の大学となるためには「大学院博士課程」の充実が不可欠といえます。今回新たに入学された方々を加えて大学院生は修士課程二七二名、博士課程一〇八名となりました。二〇〇八名の学部生に比べるとまだ十分な数とはいえませんが、一流の私立大学のレベルには達しています。大学院では、専門性をより一層高め、物事の真実を見抜く力と困難を乗り越えて実行する行動力とを身につけることができます。所属している研究室に閉じこもることなく幅広く活動されることを望みます。

人間性の豊かさは人間としての基本条件であるといえます。工学系の大学ではともすると不足がちになる芸術や文学、あるいは社会科学について、世界的に一流の方々に講師となっていたいただいております。

ます。本物の文化の香りを嗅ぐことは、豊かな人生を送るためにきわめて大切であります。また、人生のこの時期にクラブ活動や社会奉仕に携わることは人間の幅を厚くし、人間としての修行にはきわめて有効であり、明るく楽しい学生生活を送ることはその後の人生にとって意味の深いことになると思います。

大学はまさに人と人との出会いの場であるといえます。人生の師や生涯の友との出会いがあるはずです。そして、このキャンパスは大学が出会いの場であることを十分に意識して造られています。人との出会いを大切にされることを勧めます。

この後すぐに、先輩の学生たちがあなた方に話をしてくれます。あなた方の数年後の姿をそこに見ることがができます。自ら学ぶ姿勢さえあれば、これからの数年間であなた方は見違えるように成長することを実感できると思います。

私たちは、「この大学を世界一流の大学にする」という夢に挑戦をしています。私たちと共にこの夢に向かって今日から挑戦していきましょう。

平成十八年四月五日

高知工科大学 学長 岡 村 甫